

認定特定非営利活動法人

だいじょうぶ

## 2023 年度 事業報告

(2024 年 第 19 回総会資料)

日時：2024 年 5 月 26 日（日）

13:30～15:30

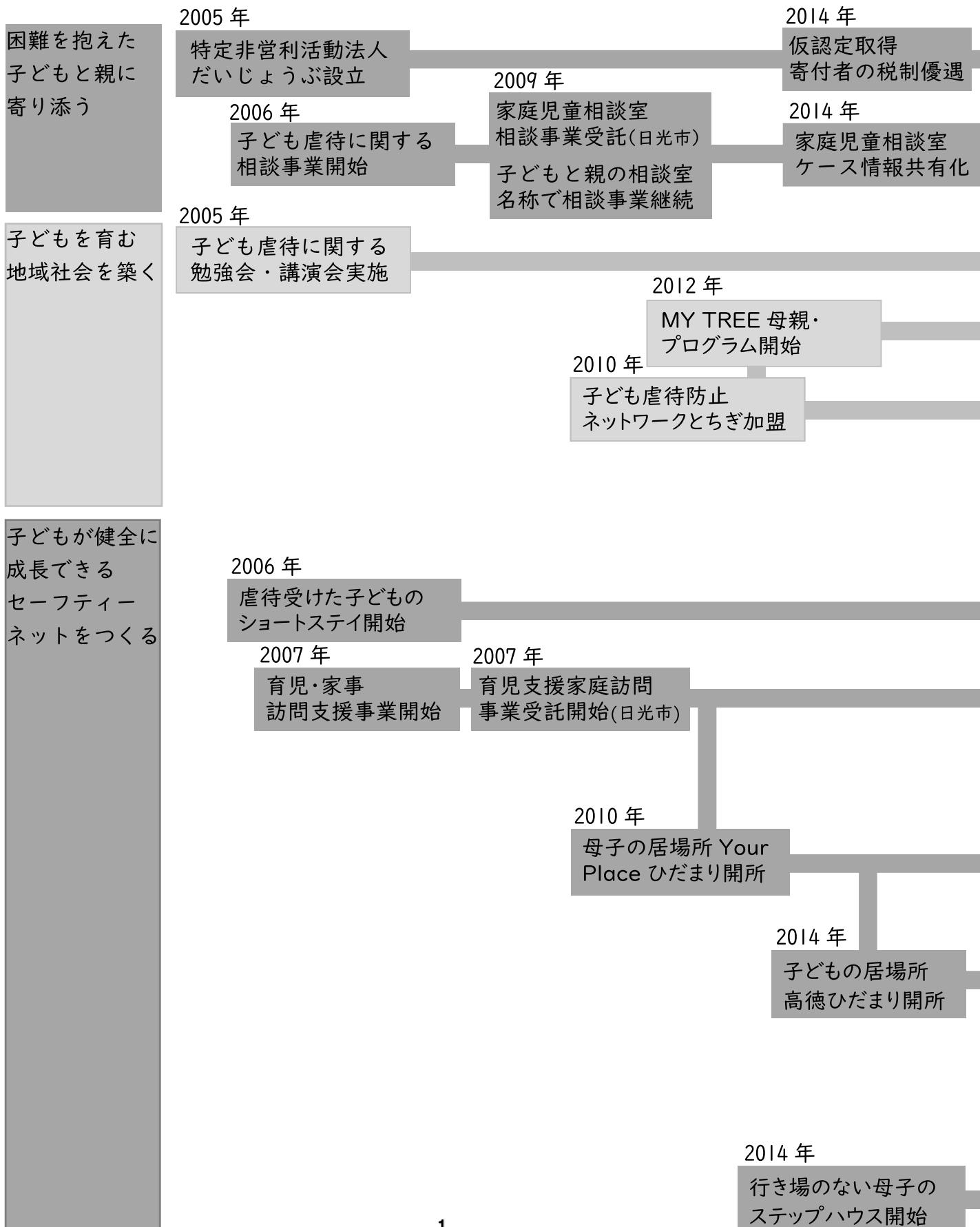
場所：子どもと親の相談室

### 総会次第

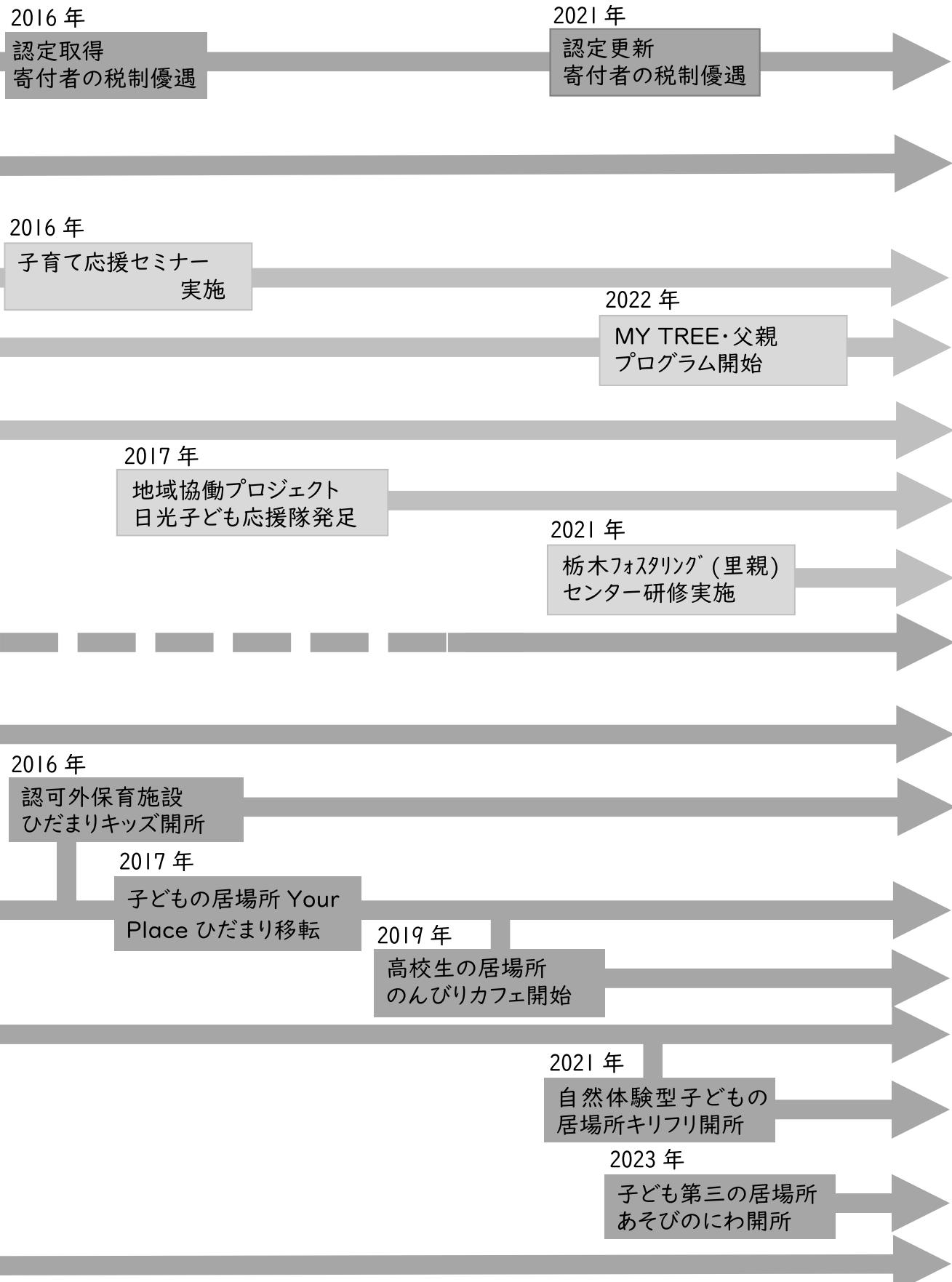
- |                 |                       |         |
|-----------------|-----------------------|---------|
| 1、開会            |                       |         |
| 2、理事長あいさつ       |                       |         |
| 3、議長選出          |                       |         |
| 4、定足数の確認        |                       |         |
| 5、書記及び議事録署名人の選出 |                       |         |
| 6、審議事項          |                       |         |
| 第 1 号議案         | 2023 年度事業報告について       | P. 3~17 |
| 第 2 号議案         | 2023 年度決算報告及び監査報告について | P.18~24 |
| 第 3 号議案         | 2024 年度事業計画書（案）について   | P.25~29 |
| 第 4 号議案         | 2024 年度予算書（案）について     | P.30~32 |
| 第 5 号議案         | 役員変更について              | P.33    |
| 7、議長解任          |                       |         |
| 8、その他           |                       |         |
| 9、閉会            |                       |         |

一人でも多くの子どもが「生まれてきてよかった！」と実感できる地域をつくります。

特定非営利活動法人だいじょうぶは、虐待や貧困、親の病気など様々な理由で家で安心して暮らすことのできない子どもたちとその家族に寄り添い、支えています。すべての子どもたちが生まれや環境に左右されずに他者との関りの中で成長できるよう、出会う子どもたちのニーズに



合わせて活動を生み出してきました。現在では、日光市との協働で取り組む相談事業を中心に、それぞれのケースに合わせて様々な支援を組み合わせ提供しています。



## 全体の報告

### 支援の必要な子どもの居場所、全国に広がる

ひだまりをモデルに県内各地に広がった「子どもの居場所」ですが、日本財団が進める「子ども第三の居場所」が全国に251拠点にまで増えています。日本財団の働きかけもあってでしょう、こども家庭庁の「子どもの居場所支援臨時特例事業」など、助成終了後に第三の居場所を市町村で運営するにあたり活用できる国の補助金も増えてきました。「全国に子どもの居場所を！」という、私たちの願いが実現しつつあると言えます。

子どもの居場所支援臨時特例事業は、ひだまり同様、要保護児童地域対策協議会であがったケースを対象としているそうです。子ども第三の居場所が目指すものが、まさに私たちがこれまで取り組んできた「支援の必要な子どもの居場所」だったということがわかりました。

### 日本財団「子ども第三の居場所」助成事業「あそびのにわ」行政移管に向けて

「あそびのにわ」への日本財団からの助成が最長あと2年で終了します。終了後の運営継続に向けて、日本財団、日光市と調整を行ってきました。その中で、先にも書きましたが日本財団の「子ども第三の居場所」が目指す行政移管の形が、まさに我々のやっている子どもの居場所の形であることがわかりました。ここまであそびのにわらしさを失わずに、要対協ケースの子を増やしながら、一般公募の子と共に存できるような運営を目指すことになりました。

### 子どもの居場所の出口戦略

のんびりカフェを利用するひだまりの卒業生が、無事に高校を卒業できたとしても、就労に失敗したり、就労しても続かなかったりして、カフェに出戻ってくることがあります。そのため、高校生への手厚い関わりや卒業後のフォローの必要性を感じてはいるものの、人員不足もあり、具体的な活動には至りませんでした。引き続き、その子なりの自立・就労に向けた支援ができるような活動の検討が必要です。

### 日光市の協働モデルをアピールし、全国に！

県内の子どもの居場所運営者との情報交換の中から、子どもたちの支援を行うにあたり、市の家庭児童相談室との連携（子どもの家庭状況、支援方針の把握）が課題とよく耳にします。日光市の市とNPOとが協働により運営する家庭児童相談室の存在は、全国的にもまだ珍しいようです。過去10数年の試行錯誤を経ながら、家庭児童相談室のだいじょうぶとの協働運営を決断した日光市に感謝すると同時に、家庭児童相談室の協働を、先進事例として広くアピールしていく必要性を感じています。

**「日光市家庭児童相談室」※日光市と協働  
「子どもと親の相談室」※だいじょうぶ独自の相談室**

**事業内容**

虐待や貧困、親の病気など、様々な理由で家で安心して過ごせない子どもとその家族に寄り添って、家庭環境を把握し、必要な支援を組み立てる司令塔を担っています。

日光市の家庭児童相談室に、だいじょうぶからアドバイザー1人と相談員2人が加わり、市と協働で相談対応にあたっています。また、年齢等の理由で市の家庭児童相談室の対象外となるケースなどに対応する独自の相談室「子どもと親の相談室」も運営しています。両方が同じ建物内にあるため、情報の共有、支援依頼、支援内容の調整・報告がスムーズにできています。

ケース情報が完全共有化され、対等に援助方針を話し合い、具体的な支援につなげられる、行政とNPOの協働のモデルになるような事例だと自負しています。

**事業報告**

<家庭児童相談室>

相談件数は、2022年度の22,964件から20,444件と減少しました。そのうち、新規で受理された相談件数317件のうち、児童虐待件数は2022年度の115件から109件とほぼ横ばいでいます。その内、特定妊婦の受理件数は14件から10件と減っていますが、要支援児童数が78件から105件と増加しています。

<子どもと親の相談室>

平日時間外と土日祝日の相談件数は754件です。内訳は①身体的虐待151件、②心理的虐待18件、③ネグレクト20件、その他の相談565件となっています。

また、困窮した子育て家庭を対象に、SOSに応じて食材や日用品、学用品、衣類等を随時提供した他、毎月(10月、2月休み)食材等配布会を実施しました。(※実績詳細「その他の動き」参照)



実施日時	毎日 24 時間	従事者数	7人	事業費の金額	11,009,278
実施場所	日光市家庭児童相談室、子どもと親の相談室、従事者宅、等				
受益者数	延相談件数:20,444 件 新規受理件数:317 件 新規受理児童虐待件数:109 件				

## 「ショートステイ事業」

### 事業内容

母親の入院や出産、不適切な養育などで、子どもが家庭で過ごすことが一時的に困難になった場合や、虐待を防ぐための母親の休息のため、お子さんを数日～1週間程度お泊まりで預かり、養育する事業です。

畠山理事長宅や地域の里親さんなど、里親の資格がある、家族に保育士がいるなど、一定の要件を満たした方（場所）に登録していただき、委託しています。また、職員が一緒に泊まり込むなどして子どもの居場所で受け入れる場合もあります。

日光市からの委託だけでなく、過去には家出をした高校生のSOSを受け止め、泊まつてもらったケースもあります。

### 事業報告

2023年度は、母子関係がうまくいかない高校生や、母親が病気療養のため入院することになった兄弟、母にDVのダメージがあり精神的に不安定で養育が困難となったケースの3件の預かりがありました。

8/9～8/10 1人(17歳) 子どもの居場所キリフリ 母子関係改善

8/27～9/3 2人(16歳、10歳) 理事長宅 母親の入院

9/26～10/4 2人(10歳、9歳) 理事長宅 母親の養育困難



実施日時	随時	従事者数	3人	事業費の金額	207,327
実施場所	子どもの居場所キリフリ、畠山理事長宅				
受益者数	日光市内の保護が必要な子、延べ5人				

## 「食べて・遊んで・学んで育つ日光子ども応援隊」、「講師派遣事業」、等

### 事業内容

子ども虐待や子どもの貧困の課題を広く市民に伝え、子どもが大切にされる社会をつくるために、様々な事業を行っています。講師派遣や、研修会の実施、地域協働プロジェクトへの参画などです。

### <子ども応援隊>

多様な主体による、子どもの貧困の課題解決に向けたプロジェクトです。地域の子どもたちが、生まれや環境によって自分を諦めることがないよう、その気になればチャレンジできる環境を整えるために、様々な事業を行っています。日光市の子どもの貧困の現状を「調べ」、「課題を見つけ」、「対策を練り」、「活動」しています。

参画主体:スマイル日光プロジェクト、S&S セミナー、NPO 法人和音、NPO 法人楽ッ子の会  
ワンプレイト、キリフリ自然学校、個人有志、だいじょうぶ

### 事業報告（※講師派遣実績は「その他」のページに記載）

### <子ども応援隊>

①朝カフェ（日光東中学校にて）:月2回、会議室を借りて、始業前に飲食ができるカフェを実施

年度始めに職員会議にて朝カフェの趣旨説明をさせていただき、より多くの先生方の理解を得ることができました。結果、生徒の利用者数の増加につながっています。また、先生方とのコミュニケーションをとることで、支援が必要な生徒の情報共有ができるようになりました。

②子どもカフェ（ひかりの里にて）:毎週木曜日 16:00～18:00 開所

参加者＆担い手の不足から、毎週開催の形を12/19で一旦終了、今後のあり方を模索するため 3/24（日）に同会場でイベント「みんなで子ども食堂」を実施しました。いつものメニューの他、食材配布会や昼食（カレー）の提供を行い、約70人の参加がありました。



朝カフェ



子どもカフェ

実施日時	随時	従事者数	6人+応援隊メンバー	事業費の金額	94,369
実施場所	講師派遣:県内外各所	子ども応援隊:市内各所			
受益者数	講師派遣:全国、多数 子ども応援隊:朝カフェ生徒約25人/教員約5人、子どもカフェ約2~5人				

## とちぎフォスタリングセンター研修

### 事業内容

子どもの社会的養護の家庭養育推進のために、養育里親を増やし、今いる里親さんがよりよい里子への関わりを持てるようにと、様々な研修を実施しています。

- ・里親向け：フォスタリング・チェンジ・プログラム（FCP）、里親認定基礎・登録前研修、里親更新研修等
- ・里親支援者向け：フォスタリングパートナー（FP）研修

※栃木県が設置した「とちぎフォスタリングセンター（TFC）」を運営する、一般社団法人とちぎ家庭養育推進協議会から同センターの研修事業の一部を受託し、実施しています。

※：フォスタリング・チェンジ・プログラム（FCP）：1999年イギリスで開発されたプログラム。子どもの長所に焦点を当て、子どもを育て、認めるための実践的なスキルを学び、家庭で実践するプログラム。

※フォスタリングパートナー（FP）：県内児童養護施設に配置されている里親支援専門相談員と、児童相談所から推薦いただいた里親・元施設職員等が構成メンバーです。

### 事業報告

<フォスタリング・チェンジ・プログラム（FCP）>

9/5～11/28 全12回講座：専門研修受講者（だいじょうぶから2人、他3人）にて運営

<フォスタリングパートナー（FP）研修>

5/25、7/13、11/30、2/22の4回実施

<里親向け研修>

里親認定基礎研修（座学1日+施設実習1日）×年3回 4～5月、7月、11月

里親認定登録前研修（座学2日+施設実習2日）×年3回 5～6月、8～9月、12～1月

里親更新研修 6/9、10/12 全体研修 2/10 新規委託里親研修 3/2



実施日時	随時	従事者数	8人	事業費の金額	3,819,814
実施場所	とちぎ福祉プラザ、パルティ栃木男女共同参画センター、他				
受益者数	FCP12人、FP研修28人、里親向け研修57人				

## 「MY TREE 母親・プログラム」、「MY TREE 父親・プログラム」

### 事業内容

「子ども虐待とは、これまで人として尊重されなかった痛みや悲しみを怒りの形で子どもに爆発させている行動です（森田ゆり プログラム開発者）」

このプログラムは、「怒り」の裏側にある痛みや悲しみ、心の傷に目を向け、回復を促すプログラムです。自分自身を大切にできるようになることで、子どもへの「怒り」の爆発が減っていきます。

2012 年度から毎年実施、2023 年度で 12 回目となります。プログラムの運営は、研修を積んだ専門スタッフが担当しています。

2022 年度、県内の MT 実施グループ「とちの木グループ」と協力して、これまでの母親プログラムに加えて、父親向けに再構成された「父親プログラム」も全国に先駆けて（大阪に次いで 2 か所目）実施しました。父親プログラムには、関東全域から、子どもへの暴力に悩む父親の参加がありました。

### 事業報告

参加者は市町の相談室や児童相談所からの紹介が主になっています。

#### <母親プログラム>

- ・日時：9/15～12/15（全 13 回講座）+個別インテイク面接、中間面接、終了時面接+3/15 同窓会
- ・参加者数：4 人
- ・参加者の声

A さん：過去の傷ついた自分がいることに気づくことができました。

B さん：マイツリーに参加して、立ち止まることの大切さ、ピンチをチャンスに変える方法や考え方について学べて良かった。

#### <父親プログラム>

※参加希望者が少なく、実施できなかった。



実施日時	母親：9/15～12/15	従事者数	4 人	事業費の金額	1,059,144
実施場所	パルティとちぎ男女共同参画センター				
受益者数	子どもへの虐待に至ってしまった母親 4 人				

## 子育てヘルパー 「育児・家事 訪問支援事業」

### 事業内容

支援の必要なご家庭を訪問し、育児や家事のお手伝いをしたり、病院や学校、役所への送迎・同行をしたりします。母親の休息のために乳幼児の託児も行っています。

自主的な支援の中で、地域の床屋さんのご厚意で、関わる子たちの散髪を無料でやっていただけています。

### 事業報告

託児については、定期的な利用はひだまりキッズの実績になっています。緊急一時的な託児が 67 件ありました。同行支援については、保健師や相談員の同行により、私たちの同行が減りました。支援の中心は、送迎支援となっています。

#### <委託事業内訳>

・託児	67 件
・家事支援	2 件
・同行支援	18 件
・送迎支援	200 件
合計	………293 件

#### <自主事業内訳>

・託児・居場所	6 件	・居場所	10 件
・家事支援	5 件	・散髪支援	4 件
・同行支援	14 件	・食料支援	8 件
・送迎支援	6 件	・その他支援	13 件
合計	…………69 件		



実施日時	ニーズに応じ随時	従事者数	7人	事業費の金額	1,078,348
実施場所	Your Place ひだまり、高徳ひだまり、ひだまりキッズ、ニーズに応じ市内各所				
受益者数	日光市民 延べ 362 人(件)				

## 支援が必要な乳幼児の認可外保育施設 「ひだまりキッズ」

### 事業内容

育児疲れや、育児不安等で子どもの養育がままならないケース等、支援が必要な乳幼児を、保育園入園までの間一時的に預かり保育しています。また、母親のレスパイトのために、所属があるお子さんについても預かり、お風呂に入れたり夕食を提供し自宅に送る、夕方の保育も行っています。

キンシップや声掛け、受け止めを大切に、母親のように、おばあちゃんのように保育しています。居場所を求めている母親も多いことから、母子での利用も可能な限り受け入れています。

平日 9 時～17 時開所（土日祝日は休み）

### 事業報告

子どもたちが安心して過ごせるよう、一人ひとりに合わせた優しい言葉かけを心がけました。また、母親だけでなくご家族を誘って食卓をかこんで子育ての話ができました。保健師や相談員等と母子との面談場所として利用いただく等、関係機関との連携が深りました。

日中の一時的な預かりは減少傾向で、実績は 2022 年度の 415 件から 290 件と減っています。

・開所日数：230 日

・利用者数：乳幼児 13 人 延べ 290 人 1.3 人/日利用

・職員 10 人、ボランティア 1 人が延べ 517 人従事 2.2 人/日従事

### ひだまりキッズ月別実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
キッズ開所	20	20	22	19	19	20	21	19	17	17	18	18	230
キッズ利用	14	20	19	25	17	31	30	31	18	27	31	27	290



実施日時	平日週 5 日	従事者数	10 人+ボラ 1 人	事業費の金額	6,002,021
実施場所	ひだまりキッズ				
受益者数	日光市在住の乳幼児 13 人 延べ 290 人(件)				

## ～地域にあるもう一つの家～ 子どもの居場所「ひだまり」 Your Placeひだまり / 高徳ひだまり / 子どもの居場所キリフリ

### 事業内容

家庭支援に入れない子どもを、家に入れないなら連れ出そう!と発想し、つくりました。

家で安心して過ごせない子を、放課後学校や家にお迎えに行き居場所に連れてきます。居場所では、皆で遊び、食卓を囲み、必要に応じて入浴や洗濯もして、あとは寝るだけにして家に送ります。子どもにとって、「もう一つの家」、「おばあちゃんち」のように、優しく受け止めもらえる、安心して過ごせる居場所であることを、何より優先しています。ひだまりでは、日常の生活支援だけではなく、長期休みや休日のイベント開催、外遊びへの連れ出し等、不足しがちな体験を補う事業も行っています。

栃木県が、ひだまりをモデルに、子どもの居場所づくりを市町に呼びかけ、宇都宮市や小山市等に計14か所(私たちの4か所を含む)の子どもの居場所が立ち上がっています。

### 事業報告

各居場所ごとに特徴を出して、子どものニーズに合わせて利用の配置をしました。

- ・Your Place ひだまり :子ども同士の集団での生活、遊びを提供しました。
- ・高徳ひだまり :発達課題など、特性のある子どもに個別に対応できるようにしました。
- ・子どもの居場所キリフリ:元気が有り余っている子どもを対象に外遊びを提供しました。

個別利用の多かった高徳では、その子のやりたいことを中心にその子のペースで過ごすことができ、子どもの満足度が高い一方、他の子との遊びを求める声もありました。Your Place では、たくさんの子どもたちが同じ日に利用することで、子ども同士の関りが増える半面、子ども同士のトラブルも散見されました。また、新型コロナウィルス感染症の5類指定により、4年ぶりに各居場所合同の子どもが一堂に会するイベントを実施することができるようになりました。

### Your Place ひだまり 月別の利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	20	21	22	21	19	24	22	21	20	18	17	19	244
延利用者数	48	70	60	54	53	43	45	62	55	49	55	53	647

### 高徳ひだまり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	14	19	17	15	14	14	14	16	10	14	15	13	175
延利用者数	14	17	17	11	15	25	16	20	20	21	27	16	219

### 子どもの居場所キリフリ（あそびのにわの実績の内、要支援児童数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	9	8	9	8	8	14	21	22	20	18	16	14	167
延利用者数	30	26	27	24	32	32	46	47	47	29	31	21	392
3か所計	92	113	104	89	100	100	107	129	122	99	113	90	1258

## 子どもたちの様子



### <Your Place ひだまり>

- ・244 日開所 延べ 647 人利用 2.7 人/日利用
- ・職員 25 人が延べ 727 人従事 2.9 人/日従事
- ・ボランティア 12 人が延べ 119 人従事

### <高徳ひだまり>

- ・175 日開所 延べ 219 人利用 1.3 人/日利用
- ・職員 16 人が延べ 433 人従事 2.4 人/日従事
- ・ボランティア 8 人が延べ 12 人従事

### <子どもの居場所キリフリ>

- ・167 日開所 延べ 392 人利用 2.3 人/日利用
- ・職員はあそびのにわと兼任しています。

### <合同イベント>

- ・5/13 釣り体験 三依渓流釣り場にて  
今市ロータリークラブさん共催
- ・8/9 ミニ夏祭り 居酒屋⑤駐車場にて  
今市ロータリークラブさん共催
- ・8/19~23 ブルーベリー狩り体験  
福田様農地にて
- ・12/6 ひだまりクリスマス会  
梅屋敷旅館にて(MDRT 助成事業)

実施日時	平日+随時土日祝	従事者数	職員人/ボランティア人
事業費の金額	Your Place:6,630,358 高徳:6,072,758 キリフリ:2,669,570		
実施場所	Your Place ひだまり、高徳ひだまり、子どもの居場所キリフリ、市内各所		
受益者数	日光市内在住の支援が必要な子ども 延べ 1,258 人(件)		

## ⑤子どもが健全に育つ環境づくりを支援する事業 子どもが健全に成長できるセイフティネットをつくる

### 子ども第三の居場所「あそびのにわ」 (日本財団助成事業)

#### 事業内容

子ども第三の居場所は、子どもたちが安心して過ごせる環境で、自己肯定感、社会性、生活習慣、学習習



慣など、自立に向けて生き抜く力を育むための居場所です。居場所を核として地域と協力し、誰一人取り残されない子育てコミュニティをつくり、「みんなが、みんなの子どもを育てる」社会づくりが目的です。

2022年度事業に採択され、霧降地内で「あそびのにわ」としてスタートしました。

#### 事業報告

「放課後の時間遊びで満たす」をスローガンに、川や山などに毎日のように出かけていき、暗くなるまで自然の中で遊びなどの体験活動を提供した。毎日手作りの夕食を提供する他、必要な子には入浴や洗濯の支援も行った。

他者とのトラブルで学童で過ごせない子が、自分のペースで過ごせるあそびのにわが安心基地(アタッチメントの段階の一つ)としての機能を果たしたり、ポジティブな様子を保護者に伝えることで、保護者が安定したりすることで、落ち着いて過ごせるようになっている。

総じて、体験することで「できること」が増え、子どもに自信が芽生え、それが学ぶ意欲につながっています。

#### あそびのにわ月別実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	20	20	22	19	16	20	21	22	20	18	19	18	236
延利用者数	99	81	110	93	63	70	78	88	105	69	70	75	1001



実施日時	月～金曜日、他 236日開所	従事者数	職員14人 ボランティア11人	事業費の金額	12,254,726
実施場所	子どもの居場所キリフリ内交流スペース、霧降高原のフィールド				
受益者数	日光市内在住の子ども28人 延べ1001人利用				

## 生活困窮者自立支援法に基づく子どもの学習支援事業（日光市委託） 高校生の中退防止事業「のんびりカフェ」・社会的な居場所づくり事業

### 事業内容

#### <高校生の中退防止事業「のんびりカフェ」>

日光市在住及び日光市の高校に通う高校生&高校生世代の若者を対象としています。

高校中退を防止し、高校卒業&就労等、社会的自立を目指す事業です。土曜日開催の居場所「のんびりカフェ」と、カフェ等で培った人間関係をもとに相談対応や食材提供等を行う訪問支援を行っています。カフェでは、スマホゲームをしたり、ボードゲームをしたり、卓球をしたりと、好きなことをして過ごします。希望に応じ、相談に乗っています。

#### <社会的な居場所づくり事業> ※子どもの居場所事業の実績に含まれています。

### 事業報告

子どもの居場所ひだまりを卒業した高校生、高校を卒業した若者が利用の中心になっています。第2、4 土曜日は中学生も参加OKの日としてますが、中学生の利用は少ないです。精神的に不安定な子の利用が増え、カフェの雰囲気が少々独特になってきました。中々その子が安心できるような関りが持てず、雰囲気の改善につながっていません。

また、高校卒業後、進学したり、就職したりして本来カフェを卒業するはずの子の利用が増えています。新しい環境の中で、居場所や友達を中々見つけられないのかもしれません。外に居場所、人間関係を育てて巣立っていってほしいと願いつつ、受け入れています。中学生と高校生、卒業生の利用割合、関わり具合によっては、カフェのあり方を再検討する必要があると感じています。



実施日時	第1~4 土曜、他	従事者数	職員5人 ボラン1人	事業費の金額	3,231,911
実施場所	Your Place ひだまり、利用者宅等				
受益者数	日光市内在住の高校生等 16人 カフェ:延べ 244人 訪問支援等:延べ 33人(件)				

## ⑤子どもが健全に育つ環境づくりを支援する事業 子どもが健全に成長できるセイフティネットをつくる

### 生活困窮者自立支援法に基づく子どもの学習支援事業（日光市委託） 学力向上を図る学習支援事業

#### 事業内容

生活困窮家庭の中学校2・3年生を対象とした、無料の学習支援事業です。

以前、ひだまりの子の受験勉強にボランタリーに関わってくださっていたS&Sセミナーに運営をお願いしています。遠方等で通えない子には、Zoomを活用し、リモートで勉強を教えています。

#### 事業報告

##### <中学2年生>

対象者：18人が登録、利用 週1回開催で延べ394人が利用

##### <中学3年生>

対象者：31人が登録、利用 週3回開催で延べ1,060人が利用

実施日時	中2:金曜日 中3:水・土曜日、木・土曜日
従事者	S&Sセミナー
事業費の金額	12,568,440
実施場所	非公開（日光市内）
受益者数	日光市内在住 要保護・準要保護世帯の中学生等 2年生人・3年生人



## ⑤子どもが健全に育つ環境づくりを支援する事業 子どもが健全に成長できるセイフティネットをつくる

### 母子の自立に向けた「ステップハウス」

#### 事業内容

離婚や生活困窮、退職で寮を出されたりして行き場を失った母子に、3ヶ月を目安に無料で住まいを提供しています。利用中に、APの敷礼金等自立に向け必要な資金を貯めていただきます。

#### 事業報告

・利用がありませんでした。

実施日時		従事者数		事業費の金額	0
実施場所					
受益者数					

## その他の動き

事業内容	実施内容
① 総会、理事会の開催	・総会 5月28日 第17回通常総会 ・理事会 5月17日 第1回理事会(総会議案) 5月28日 第2回理事会(理事長の互選) 11月15日 第3回理事会(上半期の報告、下半期の計画、他)
② 通信の発行	・6月10日「だいじょうぶ通信41号」ひだまり春イベント、他 ・11月11日「だいじょうぶ通信42号」あそびのにわ・キッズの様子、他 ・2月1日「だいじょうぶ通信43号」ひだまりの様子、サンタdeラン、他
③ 講演会、研修への参加	・4月15日 MY TREE 親プログラム研修・理論編 ・7月13日 子どもの居場所担い手養成研修 ・9月7日 子どもの居場所担い手養成研修 ・9月30日 ロバートソンフィルム視聴学習会 ・11月9日 子どもの居場所担い手養成研修 ・10月28~29日 子ども虐待をなくそう!県民の集い「こどもがまんなか、親支援」 (兼:甘えの間主観性研究会 全国学術集会 栃木大会) ・11月24~27日 子ども虐待防止学会学術研究集会 滋賀大会 ・1月5日 職員全体研修「ケース検討ディベート大会」 ・1月24日 子どもの場所担い手養成研修 ・3月7日 児童虐待防止セミナー「精神疾患を抱えた親への子育て支援」 ・3月30日 どちコミの集い
④ 他団体との交流	・10月1日 チャリティーウォーク(フードバンクうつのみや)休憩所運営 ・1月25日 栃木県地域福祉ネット新年会にて活動紹介
⑤ 講座等実施	※とちぎフォスターングセンターの研修(詳細は7ページ)
⑥ 講師派遣	・5月26日 武蔵大学講義「児童虐待を無くすために～行政と協働のとりくみ」 日光市手をつなぐ親の会主催講演会 ・8月4日 矢板市教育委員会主催職員研修 ・9月6日 全国家庭養育支援ネットワークセミナー ・9月21日 日光市子育て応援セミナー ・10月29日 子ども虐待をなくそう!県民の集いにて講演「親支援で親が変わる」 ・1月30日 栃木県青少年育成県民会議「とちぎの子どもの未来のために」 ・2月11日 栃木県在宅介護ネットワークポスターセッション……他、全16件
⑦ 見学受入	・7月11日 論文のための子どもの居場所インタビュー ・7月19日 黒磯地区民生委員13名 ・7月19日 シルバ大学校学生4人 ・7月25日 社会貢献支援財団安部昭恵会長他2名 ・8月25日 江東区議会議員3名 ・9月11日 日光市子ども家庭支援課職員 ・11月1日 蔵のまちたんぽば子どもの居場所職員10名 ・12月19日 宇都宮共和大学学生21名……他、全14件
⑧ 資金集め	・12月17日 子どもの貧困撃退♡チャリティー サンタdeラン&クリーン参画

事業内容	実施内容																		
⑨ メディア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1月3日、4日、5日、6日、10日、11日、12日／3月12日、21日、22日 下野新聞 連載記事「希望って何ですか～続・貧困の中の子ども～」</li> <li>・日光市広報4月号 特集 いつでもつながる。つながりなおせる。 ～市の社会的孤立支援～(のんびりカフェ)</li> </ul>																		
⑩ 取材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月14日／8月17日／10月5日／11月15日／11月27日／12月8日 2月27日 下野新聞 連載記事取材</li> <li>・2月20日 日光市秘書広報課 広報特集記事 取材</li> </ul>																		
⑪ 各種委員会等への参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栃木県今市特別支援学校評議員</li> <li>・日光市福祉のまちづくり推進委員会今市地区委員</li> </ul>																		
⑫ 物資の寄贈 (受け入れ)	<p>○育児支援家庭、子どもの居場所ひだまり、食材配布会宛てに、食品や日用品などの生活物資を寄贈いただいた。件数は303件(89か所より)にのぼる。</p> <p>&lt;物資提供をいただいた皆様(敬称略)&gt;</p> <table> <tbody> <tr> <td>・個人有志の皆様</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・団体:社会貢献支援財団</td> <td>いちご香房なかやま</td> </tr> <tr> <td>フードバンクうつのみや</td> <td>フードバンク日光</td> </tr> <tr> <td>だいやの森旬菜館</td> <td>JA かみつが</td> </tr> <tr> <td>大沢屋製菓</td> <td>今市ロータリークラブ</td> </tr> <tr> <td>太子食品工業</td> <td>無量山専念寺</td> </tr> <tr> <td>かんだふあーむ</td> <td>はばたき</td> </tr> <tr> <td>カーブス日光ランドマーク</td> <td>7&amp;iグループ ヨークベニマル</td> </tr> <tr> <td>東京リアルリンクアネックス</td> <td>かきぬまファーム、他</td> </tr> </tbody> </table>	・個人有志の皆様		・団体:社会貢献支援財団	いちご香房なかやま	フードバンクうつのみや	フードバンク日光	だいやの森旬菜館	JA かみつが	大沢屋製菓	今市ロータリークラブ	太子食品工業	無量山専念寺	かんだふあーむ	はばたき	カーブス日光ランドマーク	7&iグループ ヨークベニマル	東京リアルリンクアネックス	かきぬまファーム、他
・個人有志の皆様																			
・団体:社会貢献支援財団	いちご香房なかやま																		
フードバンクうつのみや	フードバンク日光																		
だいやの森旬菜館	JA かみつが																		
大沢屋製菓	今市ロータリークラブ																		
太子食品工業	無量山専念寺																		
かんだふあーむ	はばたき																		
カーブス日光ランドマーク	7&iグループ ヨークベニマル																		
東京リアルリンクアネックス	かきぬまファーム、他																		
⑬ 物資の支援 (提供)	<p>○生活困窮家庭への物資支援実績(延べ978件支援した。) ひだまりを利用しているなどだいじょうぶで関わる家庭だけではなく、物価高騰などの影響で困窮する家庭への支援が増えてきている。特に、子育て中の家庭向けに広く食材の配布会を実施した。</p> <p>&lt;配布会&gt;110家庭 603件(お米 1,931kg) ・食材セット配布会 毎月第4土曜日に実施(10月、2月は休み)</p> <p>&lt;提供品内わけ(配布会以外)&gt;101家庭 375件</p> <table> <tbody> <tr> <td>・乾麺や調味料、缶詰、レトルトなどの食品</td> <td>267件</td> </tr> <tr> <td>・お米</td> <td>200kg</td> </tr> <tr> <td>・衣類</td> <td>23件</td> </tr> <tr> <td>・育児用品</td> <td>22件</td> </tr> <tr> <td>・入学＆進学準備品(学用品・制服＆ジャージ)</td> <td>31件</td> </tr> <tr> <td>・その他</td> <td>32件</td> </tr> </tbody> </table>	・乾麺や調味料、缶詰、レトルトなどの食品	267件	・お米	200kg	・衣類	23件	・育児用品	22件	・入学＆進学準備品(学用品・制服＆ジャージ)	31件	・その他	32件						
・乾麺や調味料、缶詰、レトルトなどの食品	267件																		
・お米	200kg																		
・衣類	23件																		
・育児用品	22件																		
・入学＆進学準備品(学用品・制服＆ジャージ)	31件																		
・その他	32件																		
⑭ その他	・12月4日 ミキプルーン文庫みらいげんきプロジェクト 本の贈呈式 10万円相当の絵本の寄贈を受けた。																		

※その他の事業「バザー」 子どもを支える～だいじょうぶバザー実行委員会が実施